

平成21年度長岡京市事務事業点検(事業仕分け)結果

班 別	第2班	時 間	午後2:20～3:00
事業番号	17	所管部署名	総務課
事業名	ふれあい都市長岡京市民運動実践協議会事業		
事業仕分け結果	市が実施 内容・規模の見直し		
内 訳	(1)不要	—	
	(2)国及び府実施	—	
	(3)市実施 現行通り	—	
	(4)市実施 内容・規模見直し	5人	
	(5)市実施 民間委託	—	
	(6)民営化(NPO、地域団体含む)	—	
<p>【「市実施 内容・規模見直し」とした委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助の終期を設定するべき。 ・各団体の自立を目指す確固たる方針を持って事業推進に当たるべき。 ・公共私役割の適正化が必要である。 ・教育委員会や社会福祉協議会の補助金と一体化できないか。 ・協議会本体の見直しをするべき(性格の明確化、構成人数の見直しなど)。 ・補助が重複していないか再度検証すべきである。 ・事業開始から25年を迎えることを区切りに終期を設定するのがよい。以降は関係課に移管するなどしてはどうか。 ・政策的に補助すべきである。受け身ではなく、地域課題の解決につながる事業実施団体を主体的に募集すべき。(募集時に対象団体を例示するなどすれば可能ではないか) ・事業目的の転換を図るべきである。 ・「市民運動」を「市民協働」として方向転換する時期ではないか。 ・都市内分権システムへの移行に合わせて、この事業を縮小・廃止していくべき。 ・補助メニューの統合をするべき。地区、校区の補助枠を廃止し、ふれあい活動事業へのフリーエントリーを行うのがよい。 ・自治会加入率が低いことが問題である。これを上げるための工夫をすべき。 ・「ふれあい活動」の定義が不明確なため、費用対効果が分からなくなっている。 ・団体の自立を促すのであれば、設立段階の支援を厚くし、段階的に縮小していくようにすべきである。 			

※今後この事業をどうしていくかは、仕分け結果と仕分け委員からいただいた意見を考慮したうえで、市としての最終的な判断を行います。